

## ごみ処理条件について

### 1 ごみの搬入区分の設定

新工場のごみの搬入区分は以下のとおりです。現工場からの変更はありません。

表 ごみの搬入区分

分別形態		搬入先		対象物
		焼却	粗大	
生活系ごみ	家庭ごみ	○		生ごみ、ゴム製品、皮製品、農薬、劇薬の空びん、食用油（紙などにしみこませるか凝固剤で固めて）、紙おむつ（汚物は取り除く）、アイロン・ポットなど（30 cm以下のもの）、ポリタンク（20ℓまで）、せともの、板ガラス、コップ、電球、刃物など
	粗大ごみ		○	一番長い部分が概ね 30 cm を超え、100kg 以下の耐久消費財等、家庭用電気製品（家電リサイクル法対象品・パソコンを除く）、家具、寝具類、自転車、趣味用品、50cc 以下のオートバイなど
	臨時ごみ	○	○	引越し、大掃除などで臨時的に多量に出るごみ（粗大ごみを含む）
	自己搬入ごみ	○	○	家庭ごみ、粗大ごみ
事業系ごみ	可燃ごみ	○		事業ごみから、産業廃棄物と資源物（リサイクル可能な紙類、飲料用缶・びん・ペットボトル）を除いた可燃ごみ
	粗大ごみ		○	生活ごみの対象物に準じる。（産業廃棄物除く）
	自己搬入ごみ	○	○	処理施設の搬入遵守事項、受入基準による。

### 2 ごみの搬出区分の設定

新工場のごみの搬出区分は以下のとおりです。現工場からの変更はありません。

表 ごみ種別の搬出区分

排出区分		貯留場所	排出形態（想定）	搬出先
外部処分物	焼却残さ	ピット	直積み	石積埋立処分場
	鉄類	ヤード	直積み	民間業者
	危険物、処理困難物	ヤード	品目による	各処理・処分業者
資源物	回収鉄	ヤード	コンテナ	民間業者
	回収アルミ	ヤード	コンテナ	民間業者

### 3 計画処理量

本市で処理するごみの将来推計量を計画処理量として設定します。これには、焼却施設については家庭ごみ、事業系可燃ごみや選別・破碎工程で発生する可燃性残さ、富谷市の可燃ごみなどが含まれ、粗大ごみ処理施設については、粗大ごみや自己搬入ごみなどが含まれます。

令和元年度に実施した「一般廃棄物処理実態等調査」の結果から推計される計画処理量を以下に示します。

なお、最終的な計画処理量は、令和7年度に予定している「一般廃棄物処理基本計画」の中間見直し等を踏まえて設定します。

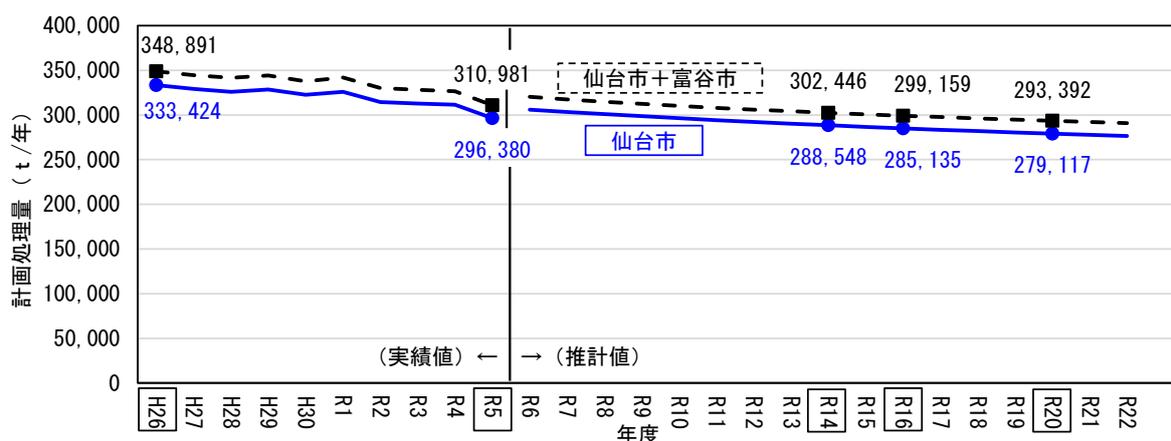


図 計画処理量（焼却施設）の推移

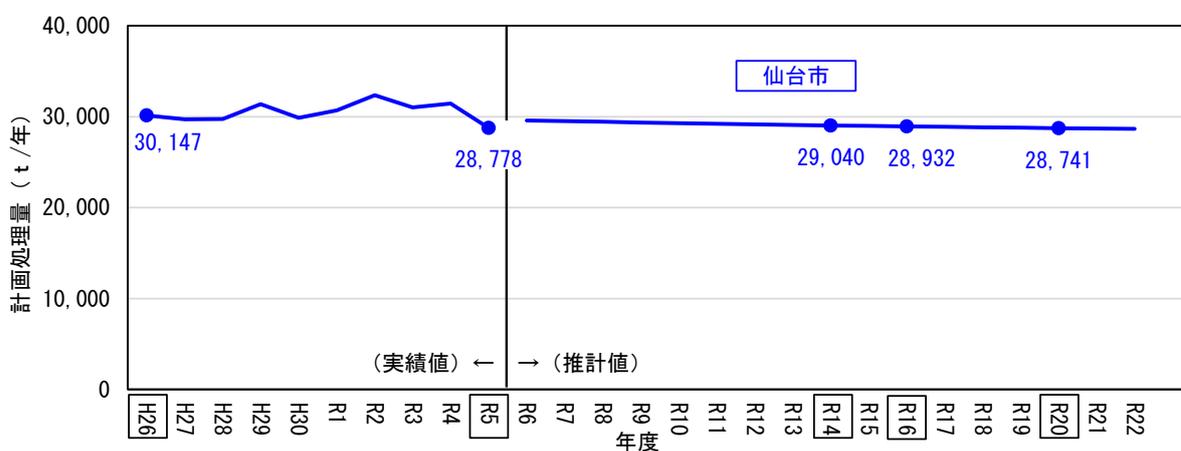


図 計画処理量（粗大ごみ処理施設）の推移

## 4 施設規模

### (1) 焼却施設の施設規模

#### 1) 今後の施設整備

新焼却施設の整備の前提として、本市の各焼却施設の当面の施設整備の考え方を以下に示します。

##### ① 今泉工場

現工場の焼却施設は、平成 29 年 10 月から令和 3 年 1 月にかけて 2 回目の基幹的設備改良工事を実施し、工事完了後の翌年度（令和 3 年度）から概ね 10 年程度の延命化を行いました。基本構想では工期を 4 ヶ年と想定していましたが、プラントメーカーへの調査結果等を踏まえ、本計画では工期を 5 ヶ年と見直します。そのため、令和 14 年度中の新工場稼働に向けて、令和 9 年度に建設工事契約、令和 10 年度の工事着手を想定しています。

##### ② 葛岡工場

葛岡工場の焼却施設は、平成 26 年 10 月から平成 29 年 3 月にかけて基幹的設備改良工事（1 回目）を実施し、延命化目標年数は「稼働から 40 年となる令和 16 年度」としています。本計画では令和 16 年度から 2 ヶ年で基幹的設備改良工事（2 回目）の実施を想定することとします。

##### ③ 松森工場

松森工場の焼却施設は、今泉工場と同様に 45 年間程度稼働すると想定した場合、稼働 35 年目にあたる令和 22 年度までに基幹的設備改良工事（2 回目）を完了させる必要があります。本計画では令和 20 年度から 3 ヶ年で実施する設定とします。

表 各焼却施設における施設整備スケジュール（想定）

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	
現工場 600t/日 (200t/日×3炉)																														
築年数	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46										
新工場																														
築年数																														
葛岡工場 600t/日 (300t/日×2炉)																														
築年数	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	
松森工場 600t/日 (200t/日×3炉)																														
築年数	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	

## 2) 葛岡工場及び松森工場の処理量及び稼働日数

### ① 焼却施設の日平均処理量

葛岡工場と松森工場の過去 10 年間（平成 26 年度～令和 5 年度）の年間日平均処理量（年間処理量を 365 日で割った量）の推移を以下に示します。

過去 10 年間の日処理量平均から、年間日平均処理量は葛岡工場で 320 トン/日、松森工場で 375 トン/日と算定されます。

### ② 基幹改良工事期間中の処理能力

葛岡工場では令和 16 年度から、松森工場では令和 20 年度から基幹的設備改良工事を実施し、工事期間中は、それぞれの焼却炉の処理能力（処理可能量）が大きく減少します。葛岡・松森工場それぞれ通常では年間 244 日程度の稼働日数を見込みますが、基幹的設備改良工事中は、過去の工事実績から、それぞれ 81%（197.5 日）、67%（162.3 日）に減少すると想定します。

これらの稼働日数の減少割合を、上記の年間日平均処理量に反映させ、以下に示すとおり、それぞれ 259 トン/日、252 トン/日と減少するものとして算定します。

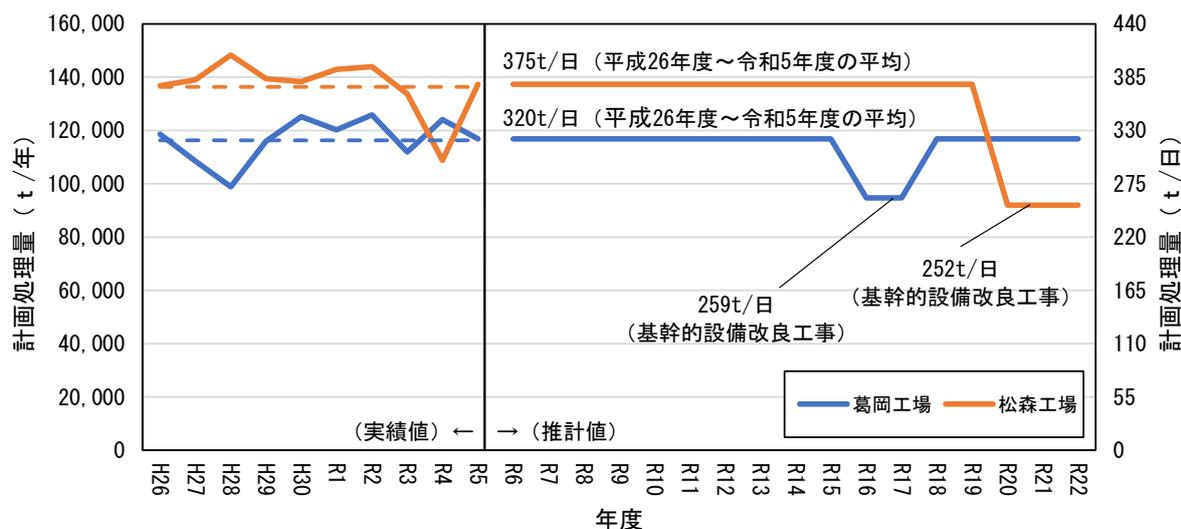


図 年間日平均処理量の推移（葛岡工場、松森工場）

### ③ 焼却施設の稼働日数

新焼却施設の稼働日数は、「循環型社会形成推進交付金等に係る施設の整備規模について（令和 6 年 3 月環境省通知）」（以下「環境省通知」）の交付要件に準拠し、年間 290 日稼働とします。

### 3) 焼却施設の施設規模

#### ① 施設規模の算出方法（災害廃棄物を除く）

新焼却施設の施設規模の算出方法（災害廃棄物を除く）は、環境省通知に基づき、以下に示す式を用いて設定します。

$$\text{施設規模[トン/日]} = (\text{計画年間日平均処理量} - \text{既存施設の年間日平均処理量}) \div (\text{年間稼働日数} \div 365 \text{日})$$

#### ② 計画年間日平均処理量と既存施設の年間日平均処理量

計画年間日平均処理量は、本計画においては「第3節 計画処理量」の推計値を換算して採用します。

R14 計画処理量 302,446 トン ÷ 365 日 = 829 トン/日  
 R16 // 299,159 トン ÷ 365 日 = 820 トン/日  
 R20 // 293,392 トン ÷ 365 日 = 804 トン/日

また、既存施設の年間日平均処理量については、「(2)葛岡工場及び松森工場の処理量及び稼働日数」で設定したとおり、葛岡工場が 320 トン/日（基幹的設備改良工事期間中は 259 トン/日）、松森工場（焼却施設）が 375 トン/日（基幹的設備改良工事期間中は 252 トン/日）とします。

上記の1)に示した式より、年間日平均処理量と葛岡工場、松森工場での年間日平均処理量の差が、新工場の焼却施設で処理する必要がある日平均処理量となり、これらを以下に示します。今後想定される基幹的設備改良工事期間中に、安定的なごみ処理体制を確保するため、新焼却施設には 232 トン/日の日平均処理量が必要となります。

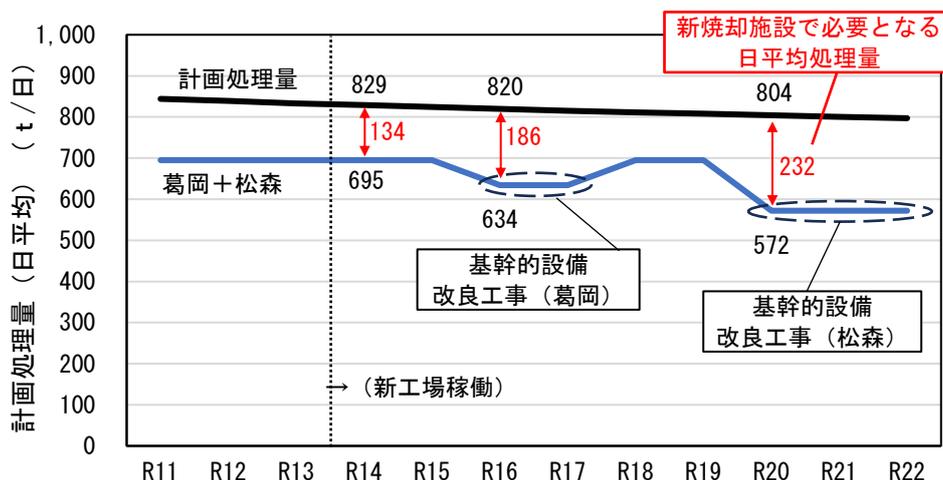


図 新焼却施設に必要となる日平均処理量の推移

#### ③ 施設規模の算出結果（災害廃棄物を除く）

新工場の焼却施設は、他の工場が基幹的設備改良工事を実施する期間中であっても、市全体として十分な処理能力を確保することが求められていることから、年間稼働日数を考慮すると、

新焼却施設には 292 トン/日の施設規模が必要となります。

施設規模[トン/日]

$$= (\text{計画年間日平均処理量} - \text{既存施設の年間日平均処理量}) \div (\text{年間稼働日数} \div 365 \text{ 日})$$

$$= 232 \text{ トン/日} \div (290 \text{ 日} \div 365 \text{ 日}) = 292 \text{ トン/日}$$

#### 4) 災害廃棄物処理の処理量

「基本構想」においては、宮城県沖のプレート間巨大地震（宮城県沖地震：連動型）の災害廃棄物発生量を約 123 万トンとしています。東日本大震災における処理実績から、新工場の稼働期間中に発生が想定される災害廃棄物の処理量を、以下の算定結果のとおり 41,800 トンと推計します。

宮城県沖地震（連動型）	災害廃棄物発生量予測	123 万トン
東日本大震災	災害廃棄物発生量	137 万トン
〃	可燃ごみ・粗大ごみ既設処理量（3年）	46,559 トン

災害廃棄物処理量（年間処理量推計）

$$= \text{①宮城県沖地震（連動型）災害廃棄物発生量予測} \times \frac{\text{③東日本大震災既設処理量}}{\text{②東日本大震災災害廃棄物発生量}} \div \text{処理計画年数}$$

$$= 123 \text{ 万トン} \times \frac{46,559 \text{ トン}}{137 \text{ 万トン}} \div 3 = 41,800 \text{ トン}$$

また、新工場の焼却施設における想定処理量は以下のとおりであり、可燃物・粗大ごみ合計で年間 4,570 トン、1 日あたり 15 トンとなります。

表 東日本大震災時の災害廃棄物処理量 及び 新焼却施設年間想定処理量

項目	東日本大震災		想定	
	3 工場処理量	現今泉工場 処理割合	3 工場処理量	新焼却施設 処理量
可燃物（がれき）	28,628 トン/3 年	25.8%	25,700 トン/3 年	2,210 トン/年
粗大ごみ	17,931 トン/3 年	44.0%	16,100 トン/3 年	2,360 トン/年
計	46,559 トン/3 年	—	41,800 トン/3 年	4,570 トン/年

※「粗大ごみ」の現今泉工場処理割合については、基幹改良工事期間を除く平常時の今泉及び葛岡工場粗大ごみ処理施設への搬入割合（令和 3 年度）を用いた推計値

$$\text{新焼却施設想定処理量（日あたり）} = \text{想定処理量（年間）} 4,570 \text{ トン/年} \div 365 \text{ 日}$$

$$\div (\text{年間稼働日数} 290 \text{ 日} \div 365 \text{ 日}) = 15 \text{ トン/日}$$

## 5) まとめ

新焼却施設の施設規模として、本計画では、日常的に発生する生活ごみや事業ごみへの対応として 292 トン/日、大規模災害時に発生する災害廃棄物への対応として、15 トン/日、合計で 307 トン/日程度（既存施設 600 トン/日の概ね 1/2 程度）の処理能力の確保が必要となります。なお、最終的な施設規模の設定については、令和 7 年度に予定している「一般廃棄物処理基本計画」の中間見直し等を踏まえて設定します。

## (2)粗大ごみ処理施設の施設規模

### 1)粗大ごみ処理施設の運転条件

#### ① 粗大ごみ処理施設の稼働日数

粗大ごみ処理施設は、焼却施設とは異なり 24 時間運転する必要がないこと、ごみの受入を原則として実施しない土日、年末年始まで稼働させる必要がないことから、新粗大ごみ処理施設の稼働日数は、現粗大ごみ処理施設と同様、年間 240 日稼働とします。

#### ② 粗大ごみ処理施設の 1 日あたりの稼働時間

1 日あたりの稼働時間は、現粗大ごみ処理施設と同様、処理ラインの運転稼働時間の 5 時間に設定し、日常点検、休憩、清掃などを含めた総稼働時間は 8 時間程度となります。なお、多くのごみを処理する必要がある場合は、一時的に運転時間を延長します。

### 2)粗大ごみ処理施設の施設規模

#### ① 施設規模の算出方法

新粗大ごみ処理施設の施設規模の算出方法は、以下に示す式を用いて設定します。

施設規模[トン/日] = 計画年間日平均処理量（新粗大ごみ処理施設）÷（年間稼働日数÷365 日）×月変動係数
--

#### ② 計画年間日平均処理量

「第 3 節 計画処理量」における将来の粗大ごみ発生量推計から、稼働年度当初に必要な今泉及び葛岡工場を合わせた全体の計画年間日平均処理量は、79.6 トン/日となります。

$$\text{計画年間日平均処理量（全体）} = \text{R14 計画処理量 } 29,040 \text{ トン} \div 365 \text{ 日} = 79.6 \text{ トン/日}$$

一方、今泉工場で処理した量の割合は、直近 5 ヶ年（令和元年度～令和 5 年度）の最大が 45.5%となっていることから、新粗大ごみ処理施設における計画年間日平均処理量は、36.2 トン/日となります。

$$\text{計画年間日平均処理量（新粗大ごみ処理施設）} = 79.6 \text{ トン/日} \times 45.5\% = 36.2 \text{ トン/日}$$

### ③ 月変動係数

現工場の粗大ごみ処理施設への搬入量と月変動係数は以下のとおりであり、月変動係数の最大値は、1.61 となっておりますが、この月は令和元年東日本台風発生の影響で搬入量が増加した特異値であるため除外し、次点となる 1.41 を月変動係数とします。

表 3-4-3 月変動係数（今泉粗大ごみ処理施設）

年度	搬入量 (t/月)												合計	平均値
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
R1	613.7	1,044.4	1,168.0	1,497.3	1,181.8	1,266.3	1,731.5	1,037.1	966.2	779.2	658.0	922.4	12,866.0	1,072.2
R2	952.4	1,056.0	1,323.6	0.0	1,244.4	1,180.8	1,389.8	1,036.7	1,199.8	587.3	667.2	1,211.1	11,849.2	987.4
R3	1,039.6	1,065.3	1,350.4	1,316.7	1,431.0	1,410.9	1,320.6	1,130.9	1,072.7	691.2	585.4	1,253.7	13,668.4	1,139.0
R4	988.4	1,080.5	1,466.3	1,371.0	1,583.2	1,492.5	1,417.1	1,206.2	1,085.5	832.7	745.6	1,069.8	14,339.0	1,194.9
R5	862.6	1,132.9	1,327.7	1,243.1	1,255.2	1,195.2	1,393.1	1,164.6	1,080.4	709.7	543.6	993.8	12,901.9	1,075.2
年度	月変動係数												最大	平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
R1	0.57	0.97	1.09	1.40	1.10	1.18	1.61	0.97	0.90	0.73	0.61	0.86	1.61	1.38
R2	0.96	1.07	1.34	0.00	1.26	1.20	1.41	1.05	1.22	0.59	0.68	1.23	1.41	
R3	0.91	0.94	1.19	1.16	1.26	1.24	1.16	0.99	0.94	0.61	0.51	1.10	1.26	
R4	0.83	0.90	1.23	1.15	1.32	1.25	1.19	1.01	0.91	0.70	0.62	0.90	1.32	
R5	0.80	1.05	1.23	1.16	1.17	1.11	1.30	1.08	1.00	0.66	0.51	0.92	1.30	

### ④ 施設規模の算出結果

新粗大ごみ処理施設は、以下の算定結果のとおり、78 トン/日以上処理能力が必要です。

#### 施設規模

$$\begin{aligned}
 &= \text{計画年間日平均処理量} \div (\text{年間稼働日数} \div 365 \text{ 日}) \times \text{月変動係数} \\
 &= 36.2 \text{ トン/日} \div (240 \text{ 日} \div 365 \text{ 日}) \times 1.41 \\
 &= 78 \text{ トン/日}
 \end{aligned}$$

### 3)まとめ

新粗大ごみ処理施設の施設規模として、本計画では、78 トン/日（既存施設 120 トン/日の概ね 7/10 程度）の処理能力の確保が必要となります。なお、最終的な施設規模の設定については、令和 7 年度に予定している「一般廃棄物処理基本計画」の中間見直し等を踏まえて設定します。

## 5 計画ごみ質

### (1)ごみ質の状況

現焼却施設の過去5年間（令和元年度～令和5年度）のごみ質状況は以下のとおりです。

表 ごみ質の状況（令和元年度～令和5年度）

試料採取年月	種類組成														三成分				単位体積重量 t/m <sup>3</sup>	低位発熱量 kJ/kg
	不燃物				可燃物										水分	可燃分	灰分	合計		
	ガラス類	陶器・石類	金属類	小計	ゴム・皮革類	プラスチック類	塵芥類	木類	紙類	布類	小計	その他	合計							
														%						
R1年度	R1.4	0.0	1.3	3.2	4.5	13.5	14.6	7.0	1.4	45.3	11.9	93.7	1.8	100.0	42.36	48.97	8.67	100.0	0.11	9,300
	R1.5	3.1	2.5	12.4	18.0	0.6	13.2	12.3	4.7	47.1	3.5	81.4	0.6	100.0	38.71	43.57	17.72	100.0	0.10	7,800
	R1.6	1.1	0.0	0.9	2.0	2.6	20.4	13.2	1.0	55.3	4.2	96.7	1.3	100.0	55.34	39.94	4.72	100.0	0.12	7,300
	R1.7	0.0	0.0	0.3	0.3	5.9	18.3	10.2	0.3	46.5	17.4	98.6	1.1	100.0	39.76	56.47	3.77	100.0	0.07	10,800
	R1.8	0.0	2.7	2.2	4.9	0.4	14.9	19.5	1.8	54.1	3.6	94.3	0.8	100.0	51.65	39.00	9.35	100.0	0.12	6,200
	R1.9	0.0	5.4	7.0	12.4	3.3	14.1	13.9	9.5	41.4	4.6	86.8	0.8	100.0	42.23	46.26	11.51	100.0	0.12	8,700
	R1.10	2.3	0.0	1.4	3.7	0.4	14.3	12.8	2.9	60.2	4.1	94.7	1.6	100.0	44.35	50.50	5.15	100.0	0.08	9,400
	R1.11	0.6	0.0	0.9	1.5	0.0	14.1	21.7	3.9	45.6	12.4	97.7	0.8	100.0	54.71	42.16	3.13	100.0	0.12	7,500
	R1.12	0.0	1.9	2.8	4.7	0.1	15.8	10.6	2.2	50.5	10.8	90.0	5.3	100.0	39.19	53.86	6.95	100.0	0.10	10,100
	R2.1	5.6	0.0	0.3	5.9	0.9	15.7	16.6	0.6	23.2	33.4	90.4	3.7	100.0	46.49	47.26	6.25	100.0	0.16	9,200
	R2.2	0.0	2.8	0.8	3.6	4.0	11.8	13.9	6.0	44.7	14.8	95.2	1.2	100.0	44.15	50.40	5.45	100.0	0.13	8,800
R2.3	0.0	0.0	2.5	2.5	1.7	13.3	9.2	0.7	40.1	32.0	97.0	0.5	100.0	33.94	60.72	5.34	100.0	0.12	11,800	
R2.4	0.7	0.0	2.2	2.9	0.7	20.4	11.4	3.5	33.3	27.1	96.4	0.7	100.0	33.23	60.88	5.89	100.0	0.10	12,800	
R2.5	0.0	0.0	0.9	0.9	4.1	29.4	13.7	0.6	25.0	25.4	98.2	0.9	100.0	34.66	61.38	3.96	100.0	0.09	14,700	
R2.6	0.0	0.0	1.0	1.0	10.5	14.4	6.8	11.0	48.7	7.4	98.8	0.2	100.0	34.85	59.37	5.78	100.0	0.10	12,200	
R2.8	0.2	1.5	0.1	1.8	11.8	16.3	23.7	1.4	40.0	3.7	96.9	1.3	100.0	53.39	41.02	5.59	100.0	0.18	7,400	
R2.9	1.5	0.0	0.6	2.1	0.5	27.5	17.5	12.0	32.5	1.8	91.8	6.1	100.0	48.72	43.33	7.95	100.0	0.13	8,900	
R2.10	2.5	0.0	1.4	3.9	0.0	19.3	14.6	1.7	46.2	12.6	94.4	1.7	100.0	45.29	49.44	5.27	100.0	0.09	9,400	
R2.11	2.5	0.0	2.0	4.5	0.9	19.1	14.7	2.7	46.4	10.2	94.0	1.5	100.0	57.94	36.94	5.12	100.0	0.15	6,700	
R2.12	0.0	0.0	0.8	0.8	5.5	12.2	23.0	4.3	38.6	15.0	98.6	0.6	100.0	52.63	42.56	4.81	100.0	0.13	7,200	
R3.1	2.0	0.0	0.4	2.4	0.0	19.2	17.3	0.2	43.8	14.6	95.1	2.5	100.0	55.66	40.18	4.16	100.0	0.14	7,800	
R3.2	0.0	0.6	0.8	1.4	0.0	11.1	19.4	0.7	46.1	19.2	96.5	2.1	100.0	48.12	46.73	5.15	100.0	0.13	8,200	
R3.3	4.1	0.0	0.1	4.2	0.1	25.2	17.6	0.6	36.7	14.7	94.9	0.9	100.0	33.02	60.46	6.52	100.0	0.06	12,900	
R3.4	0.0	0.0	2.2	2.2	4.6	37.7	19.1	0.5	28.9	5.1	95.9	1.9	100.0	35.78	58.76	5.46	100.0	0.12	14,600	
R3.5	0.0	0.0	2.7	2.7	6.2	21.0	15.3	1.6	48.1	4.8	97.0	0.3	100.0	45.03	49.85	5.12	100.0	0.11	10,200	
R3.6	2.5	0.0	3.2	5.7	6.3	13.1	9.2	5.3	26.6	32.2	92.7	1.6	100.0	37.05	55.22	7.73	100.0	0.11	11,100	
R3.7	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0	20.7	16.3	0.3	41.0	19.2	97.5	1.3	100.0	48.88	46.55	4.57	100.0	0.11	9,000	
R3.8	0.0	0.0	9.5	9.5	1.1	15.3	13.8	2.3	34.7	21.8	89.0	1.5	100.0	47.57	45.49	6.94	100.0	0.13	8,700	
R3.9	2.6	0.0	8.7	11.3	0.4	16.4	30.2	0.4	32.2	6.3	85.9	2.8	100.0	57.11	35.82	7.07	100.0	0.12	6,500	
R3.10	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0	17.5	28.3	1.9	42.8	7.5	98.0	0.8	100.0	60.84	35.97	3.19	100.0	0.13	6,200	
R3.11	1.6	0.0	0.5	2.1	0.0	16.4	14.3	0.4	51.0	14.6	96.7	1.2	100.0	23.32	70.49	6.19	100.0	0.09	13,800	
R3.12	0.0	0.0	0.8	0.8	1.2	18.5	12.0	0.9	48.9	15.5	97.0	2.2	100.0	46.88	48.99	4.13	100.0	0.09	9,900	
R4.1	2.2	0.0	1.3	3.5	2.7	23.8	19.0	1.4	34.2	13.1	94.2	2.3	100.0	43.92	48.50	7.58	100.0	0.09	10,200	
R4.2	0.0	0.0	0.9	0.9	5.9	19.0	15.4	1.0	35.2	21.4	97.9	1.2	100.0	38.99	55.29	5.72	100.0	0.11	11,500	
R4.3	10.4	0.0	0.1	10.5	13.3	17.8	12.0	0.8	37.7	6.7	88.3	1.2	100.0	43.84	44.92	11.24	100.0	0.10	8,300	
R4.4	3.6	0.0	0.9	4.5	0.0	17.0	13.3	0.9	51.6	10.8	93.6	1.9	100.0	54.32	40.44	5.24	100.0	0.12	7,600	
R4.5	0.0	4.7	3.1	7.8	1.4	18.2	16.8	2.7	43.9	6.8	89.8	2.4	100.0	49.45	43.95	6.60	100.0	0.11	9,000	
R4.6	3.5	0.0	1.4	4.9	0.0	24.7	12.9	7.4	27.1	21.5	93.6	1.5	100.0	37.20	57.13	5.67	100.0	0.14	12,400	
R4.7	0.0	2.0	0.5	2.5	2.4	15.3	12.3	5.8	44.0	16.7	96.5	1.0	100.0	54.90	40.58	4.52	100.0	0.15	7,300	
R4.8	2.0	0.0	2.3	4.3	2.5	25.6	10.3	2.5	44.7	8.4	94.0	1.7	100.0	43.73	50.89	5.38	100.0	0.08	10,600	
R4.9	0.0	0.0	0.5	0.5	7.5	27.0	18.0	2.9	28.3	12.9	96.6	2.9	100.0	42.47	51.68	5.85	100.0	0.10	11,100	
R4.10	0.0	0.0	1.9	1.9	0.5	27.1	17.7	0.9	42.2	5.6	94.0	4.1	100.0	45.95	48.21	5.84	100.0	0.09	9,700	
R4.11	0.0	0.0	0.4	0.4	2.6	17.2	22.9	0.1	46.6	9.7	99.1	0.5	100.0	38.84	56.25	4.91	100.0	0.10	10,800	
R4.12	1.9	0.0	0.3	2.2	7.2	19.0	29.7	1.7	37.8	1.7	97.1	0.7	100.0	58.77	36.19	5.04	100.0	0.11	6,400	
R5.1	2.0	0.0	2.0	4.0	4.6	16.3	14.0	1.4	46.2	9.7	92.2	3.8	100.0	47.90	43.89	8.21	100.0	0.11	8,000	
R5.2	0.0	0.0	1.2	1.2	0.6	30.8	16.3	0.3	39.9	4.4	92.3	6.5	100.0	26.40	67.59	6.01	100.0	0.05	16,000	
R5.4	0.0	0.0	0.3	0.3	7.9	7.8	25.1	0.4	31.3	26.5	99.0	0.7	100.0	25.09	70.63	4.28	100.0	0.11	13,700	
R5.5	0.4	0.3	0.2	0.9	0.4	9.2	36.6	0.2	42.2	10.0	98.6	0.5	100.0	51.42	44.32	4.26	100.0	0.12	8,300	
R5.6	0.1	0.1	0.9	1.1	1.7	12.8	22.1	7.2	46.9	6.8	97.5	1.4	100.0	43.03	51.59	5.38	100.0	0.11	10,400	
R5.7	1.7	0.0	1.0	2.7	0.0	14.2	39.5	1.1	34.8	6.3	95.9	1.4	100.0	50.15	43.72	6.13	100.0	0.11	8,000	
R5.8	0.0	0.0	0.7	0.7	0.7	18.1	26.7	0.7	26.8	26.2	99.2	0.1	100.0	33.60	62.94	3.46	100.0	0.10	12,500	
R5.9	0.0	0.0	0.2	0.2	0.9	14.9	30.7	0.7	40.5	10.3	98.0	1.8	100.0	48.82	48.24	2.94	100.0	0.12	9,300	
R5.10	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	16.6	45.1	1.6	24.4	10.5	98.2	0.7	100.0	51.00	45.83	3.17	100.0	0.10	9,300	
R5.11	0.0	1.6	4.9	6.5	1.9	20.2	31.7	0.7	27.9	8.6	91.0	2.5	100.0	47.39	43.03	9.58	100.0	0.10	9,500	
R5.12	0.0	0.0	0.1	0.1	8.0	15.9	13.6	0.7	40.5	20.3	99.0	0.9	100.0	30.29	63.67	6.04	100.0	0.07	13,400	
R6.1	1.2	1.0	0.2	2.4	0.4	13.4	50.9	0.5	25.5	5.1	95.8	1.8	100.0	57.56	36.37	6.07	100.0	0.13	6,700	
R6.2	0.0	0.0	0.6	0.6	3.2	12.6	24.3	0.1	44.8	13.3	98.3	1.1	100.0	43.53	51.57	4.90	100.0	0.11	10,200	
R6.3	0.0	0.0	0.6	0.6	3.2	12.6	24.3	0.1	44.8	13.3	98.3	1.1	100.0	43.53	51.57	4.90	100.0	0.11	10,200	

※R2.7はオーバーホール、R5.3はデータ欠測

※出典：検査月報

## (2)焼却施設の計画ごみ質

### 1)低位発熱量・三成分・単位体積重量

「(1)ごみ質状況」踏まえ、低位発熱量・三成分及び単位体積重量を以下のとおり設定します。  
なお単位体積重量はごみピットでの圧密が考慮されていない値となります。

表 三成分・単位体積重量の設定値

区分	低位発熱量	水分	可燃分	灰分	単位体積重量
低質ごみ	5,890 kg/kJ	57.8%	35.9%	6.3%	0.13 t/m <sup>3</sup>
基準ごみ	9,770 kg/kJ	45.0%	49.1%	5.9%	0.10 t/m <sup>3</sup>
高質ごみ	13,650 kg/kJ	32.2%	62.3%	5.5%	0.07 t/m <sup>3</sup>

### 2)まとめ

計画ごみ質については、今後もプラスチック資源を始めとした資源物の分別状況等により、常に変動することが想定されることから、本計画においては上記の設定値とし、工事発注手続きにおいて今後の実績を踏まえて分析・設定します。